

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 6 年 3 月 11 日(2024.3.11)

【公開番号】特開 2024-28313(P2024-28313A)  
【公開日】令和 6 年 3 月 4 日(2024.3.4)  
【年通号数】公開公報(特許)2024-040  
【出願番号】特願 2023-218397(P2023-218397)  
【国際特許分類】  
A 6 3 F 7/02(2006.01)  
【F I】  
A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】  
【提出日】令和 6 年 2 月 29 日(2024.2.29)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

20

遊技者に有利な特別遊技を実行可能な遊技機において、  
遊技者が操作可能な操作手段と、  
通常遊技状態と、前記通常遊技状態よりも遊技者に有利な特定遊技状態とに制御する状態  
制御手段と、を備え、  
第 1 始動条件の成立、又は、第 2 始動条件の成立に基づいて変動演出を実行可能であり、  
電力供給の開始後に前記操作手段を振動させる初期振動を実行可能であり、  
前記変動演出の実行中に前記操作手段を振動させる振動演出を実行可能であり、  
前記振動演出は、  
操作有効期間中の操作に応じて実行される第 1 振動演出と、  
前記操作有効期間を伴わずに実行される第 2 振動演出と、を含み、  
前記特定遊技状態における前記第 1 始動条件の成立に基づく前記変動演出が実行される場  
合よりも、前記通常遊技状態における前記第 1 始動条件の成立に基づく前記変動演出が実  
行される場合の方が、前記振動演出が実行され易く、  
前記初期振動と前記第 1 振動演出とは、前記操作手段の振動時間を異ならせることが可  
能であることを特徴とする遊技機。

30

【手続補正 2】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 0 7  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0 0 0 7】

40

本開示の遊技機 1 は、遊技者に有利な特別遊技（大当たり遊技）を実行可能な遊技機に  
において、遊技者が操作可能な操作手段（演出ボタン 17、演出レバー 24）と、通常遊技  
状態と、前記通常遊技状態よりも遊技者に有利な特定遊技状態とに制御する状態制御手段  
（主制御基板）と、を備え、第 1 始動条件の成立、又は、第 2 始動条件の成立に基づいて  
変動演出を実行可能であり、電力供給の開始後に前記操作手段を振動させる初期振動を実  
行可能であり、前記変動演出の実行中に前記操作手段を振動させる振動演出（先読み振動  
演出、セリフ予告演出時、ステップアップ予告演出時、擬似連演出、発展演出時、カット

50

イン演出時、決め演出時、図柄揃い時、c 図柄揃い時等の振動演出)を実行可能であり、前記振動演出は、操作有効期間中の操作に応じて実行される第1振動演出(セリフ予告演出時、擬似連演出、発展演出時、カットイン演出時、決め演出時などの振動演出)と、前記操作有効期間を伴わずに実行される第2振動演出(先読み振動演出、ステップアップ予告演出時、図柄揃い時、c 図柄揃い時等の振動演出)と、を含み、前記特定遊技状態における前記第1始動条件の成立に基づく前記変動演出が実行される場合よりも、前記通常遊技状態における前記第1始動条件の成立に基づく前記変動演出が実行される場合の方が、前記振動演出が実行され易く、前記初期振動と前記第1振動演出とは、前記操作手段の振動時間を異ならせることが可能であることを特徴とする。

10

20

30

40

50